

令和3年度 事業所における 自己評価結果 (公表)

公表: 令和4年2月10日

事業所名 さのチャイルドケアセンターすてっぴ

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|--|----|-----|------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 5 | | |
| | 3 | 活動場所が、清潔で心地よく過ごせる環境となっているか | 5 | | 役割分担をし、毎日清掃している。 |
| | 4 | 活動空間が、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 5 | | |
| 業務改善 | 5 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | | |
| | 6 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 5 | | |
| | 7 | 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | | 今年はコロナ禍であったが、できる限り参加をしてきた |
| 適切な支援の提供 | 8 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか | 5 | | |
| | 9 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 5 | | |
| | 10 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 5 | | |
| | 11 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 5 | | |
| | 12 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 5 | | |
| | 13 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか | 5 | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 5 | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 5 | | 日々の振り返りの他、週1回、グループ会議にて情報共有している。 |
| | 17 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | | |
| 18 | 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | | | |
| 非常時等の対応 | 19 | 緊急時対応マニュアル、災害時対応マニュアル等を作成し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 5 | | 年に1回、年長児を対象に実施。保護者にも参加協力をしてもらっている。 |
| | 20 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 5 | | |
| | 21 | 事前に服薬やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | 5 | | 利用開始時に体調が悪くなった時の対応法を確認している。 |
| | 22 | 食物アレルギー等のある子どもについて、医師の指示書に基づき把握しているか | 5 | | 食事提供はないがアセスメント時に確認している。 |
| | 23 | ヒヤリハット事例について、事業所内で共有しているか | 5 | | 会議にて検討している。 |
| | 24 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | |
|--------------|-------------------------------------|--|----|-------------|----------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 5 | | |
| | 26 | 母子保健や子ども・子育て支援、障がい福祉、保育、教育等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 5 | | |
| | 27 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 5 | | 年に2回。園を訪問し、情報共有している。 |
| | 28 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 5 | | |
| | 29 | 保護者の要望等から保育所や認定こども園、幼稚園等での子どもの様子を支援内容に取り入れるとともに保護者・事業所と情報を共有し相互理解を図っているか | 5 | | 所長が代表して参加している。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか | 1 | 4 | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援の内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 5 | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 5 | 行えていない。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 5 | | |
| | 38 | 個人情報の取り扱いに十分注意しているか | 5 | | |
| | 39 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | | |
| 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか | | 5 | 今後検討を行っていく。 | |